

トレーナースキルアップセミナー開催報告

2021年10月22日 13:00から恒例のトレーナースキルアップセミナーを開催致しました。

会員企業様の認定トレーナー諸氏、会員企業様海外事務所のトレーナー諸氏数名、ならびに SEAJ 安全教育専門委員会のメンバーなど、合計 20 名を超える参加者を迎え、オンライン形式での開催となりました。

開催の辞：今年度の安全教育専門委員会の委員長 山本 徹 氏

安全教育専門委員会にて作成した『実技教育用ビデオ』の紹介および有効活用について

司会：上岡 秀隆 氏

セミナー発表者：西川 徹 氏

以下の内容について、レクチャーが為されました。

1. はじめに
2. ガイドラインで規定されている実技演習について
3. Web 講義での実技の実施
4. 実技動画作成に至った経緯
5. 実技動画のコンセプト
6. 実技動画の活用

1. はじめに

SEAJ 推奨安全教育では、テキストの内容を講師が説明する座学だけではなく、実体験を重視しており実技教育が欠かせないこと。

2. ガイドラインで規定されている実技演習

SEAJ 安全教育の実施ガイドライン（トレーナー養成講座において、情報提供：配布されている CD に記録、または SEAJ の HP 内のトレーナー向け情報）内に、一般教育（1～18 章）の新規および更新教育 及び 特定教育（作業リーダー）について、実技・実習実施が規定されていること。

3. Web 講義での実技の実施

在宅勤務をはじめとするオンライン形式での SEAJ 推奨安全教育の遂行にあたり、実技教育をどのように進めれば良いか？

↓

実技動画を活用しつつ、インタラクティブ性を確保していく。

4. 実技動画作成に至った経緯の説明

対面型講義で行なっている実技実習がオンラインでは困難で、オンライン講習時に各社トレーナーに対して、『こんなものを準備（自作）しておいて、こんな風に講義を進めると良いよ』という提案を作ってみた。講義時の動画の使い方、会話キャッチボールの行かない方の基本形をお伝えするサンプルとしてみた。

5. 実技動画のコンセプト

- 実技の重要性を理解する
- 教える内容、教え方を理解して講義に臨む
- 受講者に対して、指導・講義がし易いこと

6. 実技動画の活用方法について

西川氏からは、『前置き』をしっかり説明してから本題の説明を行ない、実技に入ること。それによって理解が深まるのだということをアドバイス頂きました。

閉会の辞 : 西澤

【所感】

今回のスキルアップセミナーはオンライン形式で実施され、若干参加者同士の会話の滑らかさには欠けたところはありませんが、司会である上岡氏の円滑な運営もあり、また目的意識の高い参加者各位からの積極的な発言、質問も多く、成功裏に進められたものと感触を得ました。

毎年、スキルアップセミナー開催については、討議テーマの選定など苦しみも多いのですが、セミナー開催後の参加者各位からのご意見、ご要望を伺うことにより、運営側としてもより良いセミナー開催を続ける意欲を掻き立てられます。これからも、なお一層のご参加を期待したく存じます。

以上